様式第３号（第６条関係）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**保険外診療用**

琴平町コウノトリ応援事業（生殖補助医療費助成事業）に係る受診等証明書（保険外診療）

年　　月　　日

医療機関　所在地

　名称

主治医氏名

ＴＥＬ

次の者については、生殖補助医療以外の治療法によっては妊娠の見込みがない、又は極めて少ないと思われるため、生殖補助

医療（及びその一環としての男性不妊治療）を実施し、これに係る医療費を次のとおり徴収したことを証明します。

**なお、本治療については、保険外診療で実施したものです。**

医療機関記入欄（主治医が記入して下さい。）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ふりがな受診者氏名 | 夫 |  | 妻 |  |
|  |  |
| 年　　月　　日生(　　歳） | 年　　月　　日生(　　歳） |
| 今回の治療方法 | Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ　Ｅ　Ｆ（該当する記号(下記参照）に〇を付けてください。) | Ａ又はＢの場合１　体外受精　２　顕微授精(該当する番号に〇を付けてください) |
| 男性不妊治療を行った場合は、行った手術療法を記載して下さい。（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | （精子回収の有無）１ 有　　　　２ 無 |
| 今回の治療期間※１ | （開始）　　　年　　　月　　　日　～（終了）　　　　年　　　月　　　日 |
| 日本産婦人科学会登録の有無 | 有→（体外受精　凍結保存・移植　顕微授精）　　　・　　　無 |
| 領収金額 | （今回の治療にかかった金額合計　**＊保険外診療に限る**）※２生殖補助医療治療費　　　　　　　　　領収金額　　　　　　　　　円（うち、男性不妊治療費※３　領収金額　　　　　円） |

※１　治療期間については、採卵準備又は凍結胚移植を行うための投薬開始等を行った日から治療終了日までを記載してくださ

い。ただし、主治医の治療方針に基づき、採卵準備前に男性不妊治療を行った場合は、男性不妊治療を行った日から特定不

妊治療終了日までを記載して下さい。

※２　不妊の原因を調べるための検査に係る費用、入院費、食事代、個室料、文書料は助成の対象外となります。

※３　主治医の治療方針に基づき、主治医の属する医療機関以外の他の医療機関で男性不妊治療を行った場合は、それぞれの医

療機関で証明書を作成してください。

|  |
| --- |
| （注１）助成対象となる治療は、次のいずれかに該当するものです。Ａ:新鮮胚移植を実施Ｂ:採卵から凍結胚移植に至る一連の治療を実施（採卵・受精後、胚を凍結し、母体の状態を整えるために１～３周期程度の間隔をあけた後に胚移植を行うとの治療方針に基づく一連の治療を行った場合）Ｃ:以前に凍結した胚による胚移植を実施Ｄ:体調不良等により移植のめどが立たず治療終了Ｅ:受精できず、又は胚の分割停止、変性、多精子受精などの異常受精等による中止Ｆ:採卵したが卵が得られない、又は状態のよい卵が得られないため中止（注２）採卵に至らないケース（女性への侵襲的治療のないもの）は助成対象となりません。 |